

(本件に関する照会先)

日本銀行高松支店 総務課 087-825-1102

2022年1月19日

日本銀行高松支店

香川県金融経済概況

1. 概況

- 香川県内の景気は、基調としては持ち直しつつあるものの、一部に新型コロナウィルス感染症の再拡大や供給制約による下押しの影響がみられる。

すなわち、設備投資は下げ止まっている。個人消費は、基調としては持ち直しているものの、感染症再拡大の影響からサービス消費を中心に、足もと下押し圧力が強まっている。住宅投資は持ち直している。公共投資は減少している。こうした中、企業の生産は持ち直しのペースが鈍化している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに改善に向かいつつある。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、下げ止まっている。

12月短観における設備投資（全産業）をみると、2021年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、基調としては持ち直しているものの、感染症再拡大の影響からサービス消費を中心に、足もと下押し圧力が強まっている。

大型小売店の売上は、持ち直しの動きがみられる。

乗用車販売は、持ち直しの動きがみられる。

家電販売は、底堅く推移している。

住宅投資は、持ち直している。

公共投資は、減少している。

- 企業の生産は、持ち直しのペースが鈍化している。

化学は、振れを伴いつつも、高めの水準で推移している。金属製品、窯業・土石は、持ち直している。輸送機械は、持ち直しの動きがみられる。電気機械、汎用・生産用機械、非鉄金属は、横ばい圏内の動きとなっている。食料品は、弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに改善に向かいつつある。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台前半のマイナスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（11月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。
貸出約定平均金利（11月）は、前月比低下した。
- 預金（11月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分拡大した。
- 倒産および信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以上